

公益社団法人 隊友船橋だより

令和元年12月号 発行：千葉県隊友会 船橋支部事務局

「千葉県護国神社秋季例大祭前の 清掃奉仕に参加」

10月5日(土) 船橋支部小室・豊富河野分会長(84歳)、二和・咲が丘木村分会長(73歳)と長内副分会長(60歳)三名が8時30分現地到着。9月9日台風15号(豪風雨)が千葉県下を直撃、今まで経験しなかった大きな被害を受け現在も深い傷跡を残している。護国神社も例外では無く本殿を繋ぐ左右廊下の銅板屋根の中央部分が剥がれ境内に散乱しており被害の大きさを目の当たりにしました。台風15号により罹災するなど被災者となった会員の方が多くおられます、一日も早い復興とお見舞いを申し上げます。



R1.10.5 千葉県護国神社の清掃奉仕に参加した皆さんです

このようなことで参加者は昨年に比べて15名ほど少なく郷友会の参加者と合わせて39名(男性35名、女性4名)でした。今までは落ち葉集積でしたが、今年は境内の樹木の枝が折れたりしており小枝と落ち葉を分けて回収することで作業は難儀しました。休憩時には竹中権宮司から「ねぎらいの御言葉」を頂きました。その後、参加者支部代表者から「ひと言発言コーナー」「いつまでも若いと思うな隊友会」の一言が印象に残りました。千葉県護国神社清掃ボランティアは春秋例大祭前の数日前土曜日午前に予定計画されます。

例年の春季例大祭4月10日、秋季例大祭10月10日と決まっております。

清掃ボランティア募集は、船橋だよりで詳しくご案内しますのでご参加して下さい。

有難いことに、日本の平和が74年継続しているのは先の戦争で「自分が犠牲になって家族を護る為にと誓って戦地の向かい遠い異国で戦死された方々や民間人の犠牲のお陰」だと思います。「我々隊友会はその御霊に慰霊し敬意し永遠の平和を誓い継続していく努力をすること」ではないでしょうか。

護国神社清掃ボランティア活動の機会は隊友会員同士が相互親睦を深める良い機会かもしれせん。

10月12日には台風19号が関東地域を縦断し豪雨により河川の氾濫堤防決壊で水害や土砂崩れの発生によって多くの犠牲者が出ました。

ご冥福をお祈りいたします。(木村義忠)

令和元年 お世話になりました 令和二年 良い年でありますように

今年は大災によって被災された方には一日も早く元の生活に戻られるようにお見舞いします。

支部組織においては役員の方の家族事情、本人の健康上の理由で任期半ばにして辞任される等、引きつづき役員を引き受けて頂ける皆様には御迷惑おかけいたしましたこと、紙面をお借りしてお詫びと御礼をいたします。

隊友会船橋支部会員も高齢化の波に飲まれつつあります。これに負けない為に、一人ひとりが自分の体力に合わせ足腰を鍛え何時までも一人で歩行できる体力をつける目標を持って実行することではないでしょうか。現役で若さに任せ多少は無理をされた皆さんは定年後何らかの症状が出てきているのではないですか。定年後、病気一つもしない。手術もしない。定期的に通院していない。薬も飲んでいない。そんな方は多くいらっしゃると思います。少なからず持病はあるでしょう。その持病を悪化させない生活習慣を実行して目標百歳ダ。

「隊友」配布のお願い」できる方は事務局までご一報を

船橋支部で新聞配布している分会長は「後期高齢者」(80歳を超える方も)に手が届くかその該当者です。配布新聞はご自宅までお届けします。

新聞配布は自分のできる日、時間の都合で強制はありません。

地域を観察しながら散歩やウォーキングのついでに気軽な気持ちでできます。